

令和5年度滋賀県社会教育士研修会 開催報告



日時 令和5年12月14日(木)14:00~15:00

会場 滋賀県庁新館7階大会議室

参加人数 16名

内容 ○実践事例発表:
発表者:木下 通子 氏(社会教育士・埼玉県立浦和第一女子高等学校主任司書)
○情報交換
ファシリテーター:上坂 喜美子 氏(社会教育士・安曇川高等学校 教諭)

令和2年度から始まった社会教育士制度。令和5年度までに滋賀県では約50名の方が称号を得られています。資格取得後は、コーディネート能力・ファシリテート能力・プレゼンテーション能力を発揮し、行政や企業・NPO、学校等の多様な場所で、学びを通じた人づくり・つながりづくり・地域づくりに活躍されています。

今回、社会教育士としてのさらなる活動の充実と社会教育士のつながりづくりを目的に『滋賀県社会教育士研修会』を初めて開催しました。



初めての研修会には、16名の社会教育士の参加がありました。ファシリテーターは、魅力発信動画にも出演の安曇川高等学校教諭の上坂喜美子さん、事例紹介は、現役の学校司書であり“みちねこ”としてご活躍の木下通子さんをお願いしました。木下さんは“子どもの居場所に本を”を活動の軸に、“イチオシ本の取組”等、具体的な事例を紹介していただきました。「社会教育士は称号であり、自分自身がアンテナを立てて、繋げて、広げて、アプローチしていくこと。」というお話に、参加者はこれからの活動への意欲を高めていました。

情報交換は、社会教育士になった思いや今後の活動(夢)の交流等活発に行われました。最後に、木下さんは「まず社会教育士の発信。そして、自分の強みをいかして、売り込んでほしい。」と熱いメッセージを送っていただきました。

参加者の感想

- 社会教育士の立場をフルに活かすことで、他機関とスムーズにつながれ、豊かな活動になっていくと思いました。
- 日々、まちのことや色々な出来事に関心を持ち、アンテナをはって情報収集をしたいです。
- 社会教育士として何ができるのか、自分の軸になることは何かを深く考えたいと思いました。

滋賀県社会教育士のネットワークがスタート

研修後、早速、参加者同士のつながりを大切に、情報交換会等、学び続けていくことを確認して、研修会を終えました。

滋賀の社会教育士LINEグループができました。

県内の社会教育士の情報発信・交換の場として研修参加者の皆様が組織されました。お知り合いに社会教育士の方がおられましたら、ご紹介いただきますようお願いいたします。



(LINEグループ参加のための二次元コード)



情報提供コーナー

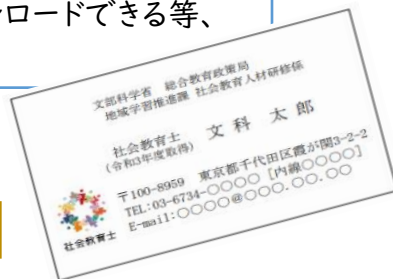
①「社会教育士」として発信を！！

文部科学省では、地域で活躍する社会教育士を応援するため、社会教育士の名刺のひな形を作成されました。社会教育士の称号入りのオリジナル名刺を作り、地域で活動してみませんか？



文部科学省「社会教育士広報ツール(二次元コード)

社会教育士ロゴデータ、名刺データ等がダウンロードできる等、社会教育士を応援するためのサイトです。



②「社会教育士魅力発信動画」を“におねっと”で配信中！！

魅力発信！
社会教育士
地域に密着した住民の学びあい活動を広げる専門人材

社会教育士とは、大学等での養成課程を修了した人たちの称号です。令和2年度から始まりました。コーディネート能力・ファシリテート能力、プレゼンテーション能力等を活かし、行政や企業、NPO、学校等の多様な場で活躍することが期待されています。

視聴はこちらから



左記の二次元コードを読み取っていただくことで視聴できます。

「社会教育士」制度ができた背景や社会教育士に期待される役割等について、神部純一先生（滋賀大学教育学部教授）による解説動画も視聴できます。